

防ごう！冬の事故

冬は、お子さんたちが楽しみにしている行事が多い季節です。一方で、事故や怪我が増える時期もあります。季節特有の危険についてご確認いただき、安全対策への意識を高めるきっかけにしていただければ幸いです。

火災防止

ストーブの周囲には布団や衣類、紙類などの燃えやすいものを置かないように注意しましょう。また、ほこりや汚れが火災の原因になることもありますので、定期的に清掃や点検を行うことも大切です。

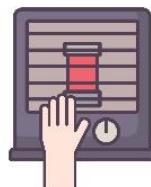
こたつについても、内部に燃えやすいものを置かないようにお子さんにお伝えください。



火傷防止

ストーブ

お子さんは好奇心から危険に気づかず近づくことがあるため、柵などを設置して触れないようにしましょう。熱風や熱気による火傷にも注意し、使い方や設置場所を見直しましょう。



加湿器・ケトルなど

高温の蒸気や熱湯で火傷してしまうことがあります。また、お子さんがコードに引っかかるて転倒する事故がないように注意が必要です。設置場所が適切であるか今一度ご確認ください。



こたつ

お子さんの皮膚は大人の皮膚をよりも薄いためこたつに長時間いると低温火傷の恐れがあります。お子さんがこたつで寝てしまった場合は早めに布団に移動させてあげてください。



冬の脱水症状

冬は脱水症状が起きやすく、特に発熱や嘔吐、下痢などの症状があると脱水のリスクが高くなります。お子さんは大人より水分を失いやすいため、こまめな水分補給が大切です。喉が渇いた時点で既に脱水が進んでいる場合もあるため、寒い時期でも水分補給を習慣化しましょう。



登下校時の注意

冬は路面が凍結しやすいため、お子さんの登下校時に注意が必要です。雪の日は注意力が散漫になりやすいため事前に危険をお伝えいただくと安心です。また、雪の日は視界が悪く音も聞こえにくくなるため、お子さんの防寒着を選ぶ際には目立つ服装がおすすめです。



厚着は避けましょう

厚着をし過ぎると動きにくくなり、転倒のリスクが高まります。薄手で暖かい肌着を重ねるなど、お子さんが身軽に動ける服装で安全面に配慮しましょう。

帽子や手袋の使い方

帽子や手袋は転倒時の衝撃を和らげる役割がありますが、遊具で遊ぶ際には外すようにお伝えいただくと安心です。手が滑る、遊具に引っかかるなどのリスクがあります。



フードやマフラーの安全性

フード付きの服やマフラー、紐付きの服は遊具や木に引っかかることで、窒息などの大きな危険を伴います。そのため、遊ぶときはできる限り避けていただけすると安心です。

教室での取り組み

2月11日に消防士さんと一緒に火災避難訓練を実施します。消火器の正しい使い方や正しい避難行動を学びましょう。

